

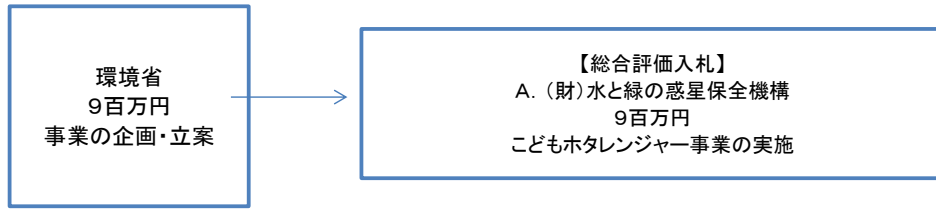
平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	水環境保全活動普及促進事業		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	水環境課		水環境課長 北村 匡		
会計区分	一般会計		施策名	3-3 水環境の保全(海洋環境の保全を含む)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水質汚濁防止法第十四条の四		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日常生活での水質汚濁防止などの水環境保全活動を促進するとともに、川や海、湖などでの環境保全活動や生物調査、遊びなど、直接水環境とふれあうことを通じて水環境への関心を喚起し、水辺の水環境問題や自然保護など、環境保全に対する理解と活動の推進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	こどもの水生生物に注目した水環境保全活動の報告を募集し、優れた取組を表彰し、子どもたちが中心となった環境保全活動の推進と正しい理解の普及を図る。また生活排水対策資材の活用方法の検討、モデル事業の実施及び効果検証を行い、持続的な普及方策等について整理する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	42	28	10	5	8	
		補正予算	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0			
	計	42	28	10	5	8		
	執行額	34	16	9				
執行率(%)	81.0%	57.1%	90.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	子ども等の国民の意識啓発と取組に係る事業のため定量的な成果目標の設定が困難。			成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	子どもホタルレンジャー活動に参加したこどもの数(活動レポート募集事業への参加者数のみ)			活動実績(当初見込み)	人	1,306	1,724 (2,000)	1,205 (2,000)
			算出根拠	単位当たりコスト=平成23年度子どもホタルレンジャー事業予算額(10,434千円)÷参加したこどもの数(1205人)				
単位当たりコスト	8,659(円/人)							
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	5	8	優先して取り組まなければならない業務をより精査したことによる減額を図っている一方、データの古い教材の更新(平成25年度限り)のため増額となっている。				
	計	5	8					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	第4次環境基本計画においても言及されているとおり、人と水とのふれあいが希薄になっており、国民の水環境への関心を高めていくため、国が率先して多様な主体の参画を促進するための普及啓発を進めていく必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	総合評価落札方式を活用し、最大限の効果が得られる業者の選定・契約を行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	これまでの事業の実績や活動の事例を整理し、HP等を通じて照会する等、成果物を十分活用している。指導者研修や対象とする生きものの拡大等を実施してきており、事業内容や裾野の着実な拡がりを見せている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>こどもホタルンジャー事業については、健全な水環境の象徴としてホタルに関する活動を対象としてきたが、他の水生生物も対象とすることや、指導者向けの研修の実施など、より内容の多角化が図られてきてきているところであり、事業実施における情報発信の工夫等を行い、継続的に事業効果の拡大を図っていく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>厳しい財政状況を踏まえ、国が優先して取り組まなければならない業務であるか、見直しが必要。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>優先して取り組まなければならない業務やデータの古い教材の更新費用について精査し、要求額の縮減を図った。</p>		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p><事業仕分け第2弾> 事業番号B-8 (事業名) 環境関係普及啓発事業 (1) 水環境保全活動普及促進事業(うち生活排水対策取組促進) (2) 水環境保全活動普及促進事業(うち水環境ふれあい推進事業)</p> <p>評価結果: 国の事業として廃止 とりまとめコメント: 本事業の評価者12名のうち、廃止が11名、予算計上見送りが1名であった。評価者からは、国が行う必要性に乏しい、事実上の丸投げで委託先の予算執行が不透明、手段として有効ではない、またこの事業により国としての政策効果があったとは認められない、との意見があった。以上を踏まえて、WGの結論としては廃止としたい。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	068	平成23年行政事業レビュー	068

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(財)水と緑の惑星保全機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費		2			
旅費	審査委員、受賞者	2			
印刷製本費	募集チラシ、募集要項、研修案内等	2			
その他	諸謝金、会場借料、通信運搬費等	3			
計		9	計		0
C.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)水と緑の惑星保全機構	こどもホタレンジャー事業の実施	9	2	非公表
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					